

再評価結果（令和3年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・技術課
担当課長名：前佛 和秀

事業名 一般国道44号（北海道横断自動車道根室線） 尾幌系魚沢道路	事業区分 一般国道	事業主体 国土交通省 北海道開発局							
起終点 自：北海道厚岸郡厚岸町尾幌 至：北海道厚岸郡厚岸町系魚沢	延長 24.7 km								
事業概要 一般国道44号は、釧路市を起点とし、釧路町、厚岸町を經由し、根室市に至る延長約124kmの幹線道路である。 尾幌系魚沢道路は、津波浸水被害などの災害時の救急活動等においても機能する信頼性の高い道路ネットワークの構築、物流効率化や観光周遊性の向上等の支援を目的とした、延長24.7kmの事業である。									
R元年度事業化	R一年度都市計画決定 (R一年度変更)	R一年度用地補償着手 R一年度工事着手							
全体事業費	約650億円	事業進捗率 約1% 供用済延長 0.0km (令和2年3月末時点)							
計画交通量 3,900～8,500台/日（本別JCT～根室IC）									
費用対効果分析結果	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">B/C (事業全体) 1.1 (1.1)</td> <td style="text-align: center;">総費用 (残事業)/事業全体 734/3,939億円 事業費：636/3,628億円 維持管理費：99/310億円</td> <td style="text-align: center;">総便益 (残事業)/事業全体 980/4,348億円 走行時間短縮便益：819/3,656億円 走行経費減少便益：130/583億円 交通事故減少便益：31/109億円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(残事業) 1.3 (1.2)</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	B/C (事業全体) 1.1 (1.1)	総費用 (残事業)/事業全体 734/3,939億円 事業費：636/3,628億円 維持管理費：99/310億円	総便益 (残事業)/事業全体 980/4,348億円 走行時間短縮便益：819/3,656億円 走行経費減少便益：130/583億円 交通事故減少便益：31/109億円	(残事業) 1.3 (1.2)			<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">基準年 令和2年</td> </tr> </table>	基準年 令和2年
B/C (事業全体) 1.1 (1.1)	総費用 (残事業)/事業全体 734/3,939億円 事業費：636/3,628億円 維持管理費：99/310億円	総便益 (残事業)/事業全体 980/4,348億円 走行時間短縮便益：819/3,656億円 走行経費減少便益：130/583億円 交通事故減少便益：31/109億円							
(残事業) 1.3 (1.2)									
基準年 令和2年									
感度分析の結果 事業全体および残事業について感度分析を実施 【事業全体】交通量：B/C=1.02～1.2（交通量±10%） 事業費：B/C=1.1～1.1（事業費±10%） 事業期間：B/C=1.1～1.1（事業期間±20%） 【残事業】交通量：B/C=1.2～1.5（交通量±10%） 事業費：B/C=1.2～1.5（事業費±10%） 事業期間：B/C=1.3～1.4（事業期間±20%）									
事業の効果等 事業の必要性及び効果 ①災害時の輸送ルート強化 ・災害発生時の避難先の確保や救急活動及び被災地外からの救援物資等の輸送ルートの強化が期待される。 ②重要港湾釧路港の流通利便性向上 ・釧路港～十勝方面や、釧路港～根室方面の所要時間が短縮されるなど、釧路港取扱貨物の流通利便性向上が期待される。 ③主要な観光地への利便性向上 ・道内外からの所要時間が短縮され、釧路地域の更なる観光活性化が期待される。 ④水産品の流通利便性向上 ・道内各地のみならず苫小牧港から全国各地へ出荷される水産品の流通利便性向上が期待される。 ⑤救急搬送の安定性向上 ・釧路地域の市町村から釧路市への救急搬送時間の短縮や、血液製剤の安定した輸送ルートの確保が可能となり、救急搬送及び血液製剤輸送の安定性向上が期待される。									
関係する地方公共団体等の意見 地域から頂いた主な意見等： 釧路市、池田町など1市10町1村の首長で構成される「北海道横断自動車道釧路地区早期建設促進期成会」等から、早期整備の要望を受けている。 知事の意見： 道央・十勝・釧路・根室圏の連絡機能の強化による地域間交流の拡大や、物流の効率化、道路交通の安全性の向上が図られ、経済・社会活動の活性化や道民の安全・安心な暮らしの確保に寄与することから、当該事業の継続について異議はありません。 なお、事業の実施に当たっては、周辺環境への影響を最小限にとどめるとともに、徹底したコスト縮減を図り、引き続き、効率的・効果的な執行に努め、早期供用を図るようお願いいたします。									

事業評価監視委員会の意見

当委員会に提出された再評価原案準備書の対応方針については、北海道開発局案を妥当と判断する。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

- ・一般国道38号・44号 釧路外環状道路 釧路東IC～釧路別保IC 開通
- ・一般国道272号 上別保道路 開通
- ・一般国道44号 根室道路 温根沼IC～根室IC 開通
- ・釧路港 国際物流ターミナル運営開始
- ・北海道内7空港民間運営開始

事業の進捗状況、残事業の内容等

令和元年度に事業化して、用地進捗率0%、事業進捗率約1%となっている。(令和2年3月末時点)

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

引き続き、早期開通に向けて事業を進める。

施設の構造や工法の変更等

施設の構造や工法等の変更は無いが、引き続きコスト縮減に取り組んでいく。

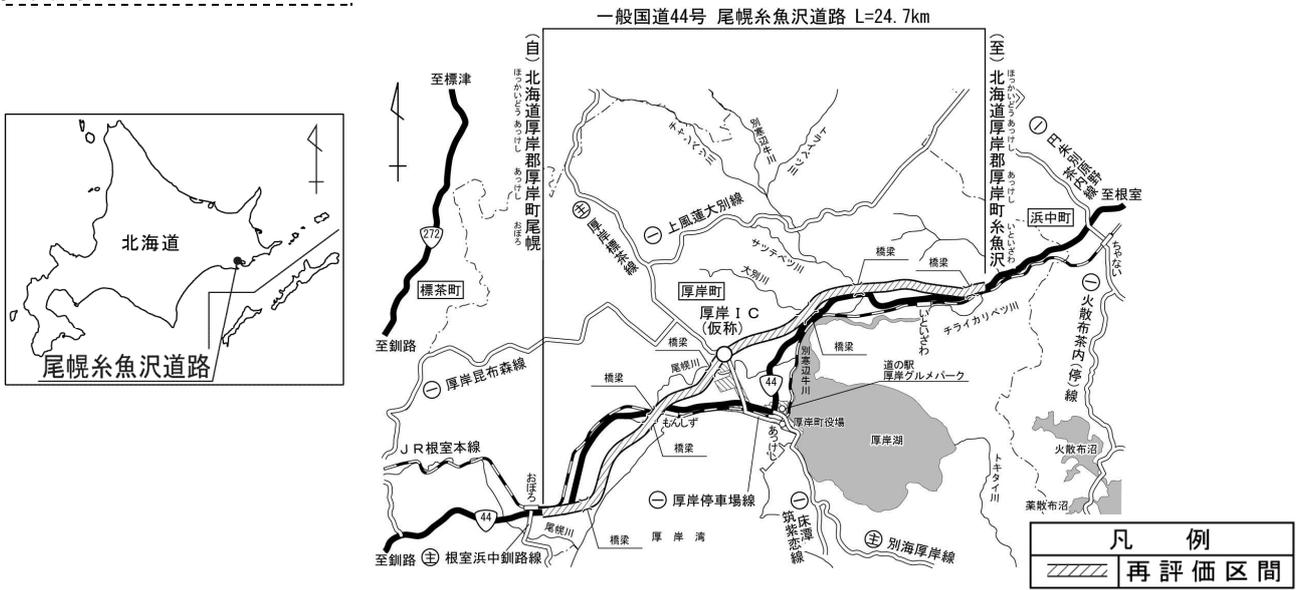
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

事業の必要性・重要性に変化はなく、費用対効果等の投資効果も確保されているため。

事業概要図



- ※ B/Cにおける () は、本別JCT～根室ICのうち評価対象区間を尾幌系魚沢道路とした場合のもの。
- ※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
- ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。